

|        |        |     |     |       |
|--------|--------|-----|-----|-------|
| 第 10 章 | 社会(歴史) | 名前: | 日 付 | No.01 |
|        | 江戸 1   |     |     |       |

## [問題 1]

次の各問いに答えよ。

秀吉の死後、( ① )は 1600 年の( ② )の戦いで豊臣方を破り、実権を握った。1603 年には( ③ )に任じられ、江戸幕府を開いた。

(1) 文中の ①～③に適する語句を答えよ。

(2) 文中の②の戦いにおける豊臣方の中心人物は誰か。

## [解答欄]

|          |      |        |          |
|----------|------|--------|----------|
| (1)①徳川家康 | ②関ヶ原 | ③征夷大將軍 | (2) 石田三成 |
|----------|------|--------|----------|

## [解説]

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 1600年 | 関ヶ原の戦い                   |
|       | 徳川家康 が 石田三成を破る           |
| 1603年 | 徳川家康 が 征夷大將軍になる<br>→江戸幕府 |
| 1615年 | 大阪の陣:豊臣氏を滅ぼす             |

豊臣秀吉の死後、徳川家康は 1600 年の関ヶ原の戦いで石田三成を中心とする豊臣方を破り、実権を握った。

1603 年には征夷大將軍に任じられ、江戸幕府を開いた。

(人群多(1600)い関ヶ原／人群れ満(1603)ちる

江戸幕府) さらに、1615 年には、豊臣氏を大阪の陣で滅ぼした。

## [問題 2]

1600 年の関ヶ原の戦いは現在の何県で行われましたか。次の[ ]から 1 つ選びなさい。

[ 愛知県 静岡県 滋賀県 岐阜県 ]

## [解答欄]

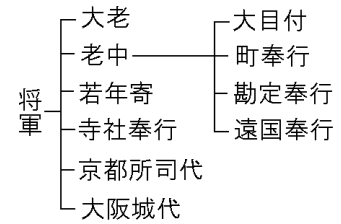
|     |
|-----|
| 岐阜県 |
|-----|

## [問題 3]

右の資料は、幕府のしくみを示している。次の①～④は、どの役職を説明したものか。

右の資料から役職名をぬき出せ。

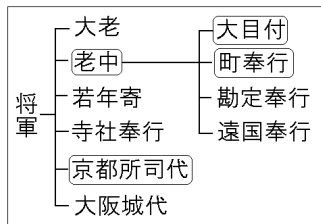
- ① 将軍の下で政治の運営にあたった。
- ② 江戸の町の政治や警察の仕事をおこなった。
- ③ 大名の監督をおこなった。
- ④ 朝廷と西国の大名の監視をした。



## [解答欄]

|      |       |       |         |
|------|-------|-------|---------|
| ① 老中 | ② 町奉行 | ③ 大目付 | ④ 京都所司代 |
|------|-------|-------|---------|

## [解説]



将軍のもとにあつて幕政を統括したのは複数人からなる **老中** で、重要事項はその合議で決められた。

老中の下に、**町奉行**(江戸の町の政治や警察)、**大目付**(大名の監視)が置かれた。

また、京都には、朝廷と西国の大名の監視を行う **京都所司代** が置かれた。

## [問題 4]

文中の①～③に適する語句を答えよ。

幕府の政治は、将軍のもとで( ① )を中心に行われた。幕府は重要な都市や鉱山を直接支配し、  
( ② )の鑄造権も独占した。また、東海道をはじめとする( ③ )の整備に努め、要地に関所をおいた。

## [解答欄]

|      |      |       |
|------|------|-------|
| ① 老中 | ② 貨幣 | ③ 五街道 |
|------|------|-------|

## [解説]

幕領:全国の4分の1  
 鉱山(佐渡金山)を直轄領  
 貨幣の鑄造権

幕府の直轄領を**幕領**という。幕府は全国の **4 分の 1** の領地をもち、大阪・京都・長崎などの重要な都市や、**佐渡の金山** など国内の主な鉱山を直接に支配し、**貨幣の鑄造権** も独占していたため、他の大名とはけた違いの経済力をもっていた。

このような強力な経済力と軍事力を背景に、徹底した大名統制を行い、こののち **260 年** あまりも続く平和な時代をつくりあげた。

## [問題 5]

江戸幕府の直轄地の石高はどれくらいでしたか。次の[ ]から選びなさい。

[ 約 200 万石 約 300 万石 約 400 万石 約 500 万石 ]

## [解答欄]

約 400 万石

## [問題 6]

次の各問いに答えよ。

(1) 次の( )にあてはまる語句を語群から選べ。

江戸時代の大名にはさまざまな種類があった。まず、徳川氏の親せきである大名を( ① )といった。また、関ヶ原の戦いより前から徳川氏の家来だった大名を( ② )大名という。最後に、関ヶ原の戦いの後に徳川氏の家来になった大名を( ③ )大名という。また、大名の支配する領地とその政治組織を( ④ )という。

(語群)

[ 県 都 藩 州 外様 よそ様 譜代 総代 親藩 水戸 白河 審判 親類 ]

(2) (1)の③の大名は、主にどんなところにおかれたか。1 つ記号で選べ。

ア 江戸に近いところ                      イ 長崎に近いところ  
ウ 大阪から遠いところ                  エ 江戸から遠いところ

## [解答欄]

|        |     |     |    |       |
|--------|-----|-----|----|-------|
| (1)①親藩 | ②譜代 | ③外様 | ④藩 | (2) エ |
|--------|-----|-----|----|-------|

## [解説]

## [幕藩体制]

大名:1万石以上の武士→**藩**

**親藩**, **譜代大名**:要所に配置

**外様大名**→**遠隔地に配置**

旗本, 御家人:1万石未満

幕府と藩の力で全国の土地と人民を支配する政治の制度を**幕藩体制**という。

大名とは**1万石以上**の領地を与えられた武士である。また、大名の支配する領地とその政治組織を**藩**という。江戸幕府は大名を、徳川氏の親せきである**親藩**、関ヶ原の戦いより前から徳川氏の家来だった**譜代大名**、関ヶ原の戦い以後に徳川氏の家来になった**外様大名**の3つに分けた。

江戸幕府を永続させるため、全国の領地の4分の1をしめる圧倒的な実力を背景にして、徹底した大名統制を行った。大名の領地がえを行って、関東、中部、近畿などの**重要な所には親藩や譜代大名を配置し**、有力な外様大名は九州、四国、東北など**江戸から遠いところに配置し**、親藩や譜代大名をその間に配置して外様を監視させた。

将軍直属の家臣には、**旗本**(将軍に直接会うことができる者)と**御家人**(将軍に直接会うことができない者)がいた。

## [問題 7]

右の資料を見て、以下の各問いに答えよ。

- (1) 資料は、幕府が大名に対して出した法律の一部である。

この法律を何というか。

- (2) ①資料の条文が示す制度を何というか。②また、この制度を定めた将軍はだれか。

## [資料]

大名は、領国と江戸に交代で住むこと。毎年四月に参勤すること。

## [解答欄]

|           |          |       |
|-----------|----------|-------|
| (1) 武家諸法度 | (2)①参勤交代 | ②徳川家光 |
|-----------|----------|-------|

## [解説]

## 武家諸法度

参勤交代：三代将軍 徳川家光 が定める  
→大名の財政を圧迫

最初の**武家諸法度**は二代将軍徳川秀忠のときに出され、以後、将軍が変わるたびごとに出された。

江戸幕府初期には、多くの大名が武家諸法度違反などの理由で処罰された。

たとえば、1619年、関ヶ原の合戦で功績があった福島正則は、武家諸法度で禁じられていた城の修築を無断で行ったという理由でお家取りつぶしの処罰を受けている。

これは、昔からの功労者であった者も法度に背けば容赦しないという武断政治の姿勢を示したものである。

三代将軍**徳川家光**は**参勤交代**の制度を定め、大名は江戸に妻子を人質として置き、1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけた。

**往復のための費用や江戸での生活のための費用は大きな負担となり、このために各藩の財政は非常に苦しくなり、大名の経済力が弱められた。**

## [問題 8]

参勤交代を実施したことによって大名の経済力が弱まったが、その理由を簡単に説明しなさい。

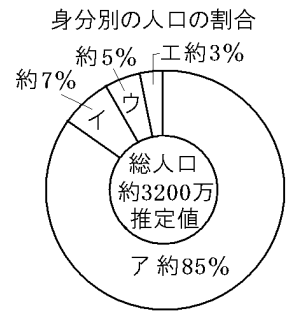
## [解答欄]

**往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられたから。**

## [問題 9]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右のグラフのア～エのうち武士はどれか。
- (2) 武士にだけ許された特権を次から 1 つ選べ。  
[ 帯刀 お茶 結婚 寺社詣で ]
- (3) 士農工商の身分の下に置かれたのは「ひにん」ともう 1 つは何か。
- (4) (3)のような身分がつくられた理由を「幕府」「百姓」の語句を使って簡単に説明せよ。

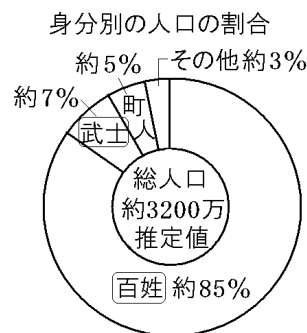


## [解答欄]

|                                                      |               |               |
|------------------------------------------------------|---------------|---------------|
| (1) <b>イ</b>                                         | (2) <b>帯刀</b> | (3) <b>えた</b> |
| (4) <b>幕府は、百姓に「下には下がある」と意識させ武士の支配に対する不満をそらそうとした。</b> |               |               |

## [解説]

|           |               |
|-----------|---------------|
| 秀吉：兵農分離   |               |
| ↓         |               |
| 江戸幕府：士農工商 |               |
| 武士(7%)    | 名字・帯刀         |
| 百姓(85%)   | 本百姓→庄屋 などの村役人 |
| 町人(5%)    | 水のみ百姓         |
| えた・ひにん    |               |



豊臣秀吉は、太閤検地と刀狩によって**兵農分離**をおこない、武士と百姓を区別して身分制を確立させた。江戸幕府もこれをひきついで、**士農工商**の身分制を徹底させた。**武士**は全人口の 7%をしめ、**名字・帯刀**などの**特権**を認められた。**町人(商人や職人)**は全人口の約 5%をしめた。

人口の約 **85%**をしめたのは**百姓**である。百姓のうち、土地をもち年貢納入の義務を負っていた者を**本百姓**といい、土地をもたない者を**水のみ百姓**といった。有力な本百姓は**庄屋(名主)・組頭・百姓代**などの**村役人**になった。

士農工商の下に、「**えた**」や「**ひにん**」という身分を設けた。これは**百姓**などに自分たちよりさらに身分の低い者がいることを意識させ、さらに、身分間で反目させて不満をそらすためであったと考えられる。